

令和7年度 第2回 日本診療放射線技師連盟理事会 議事録

日時：令和7年4月14日(月) 18:30~20:00

会場：Web 開催

出席者 理事長：木暮陽介

副理事長：市川重治、江田哲男、角田喜彦、中上康次、丹羽政美

理事：上田克彦、江端清和、菊池克彦、木口雅夫、小林聖子、佐藤晴美、園田優
杉澤路子、高橋俊行、谷本恵子、富田伸夫、富田博信、中村勝、中村泰彦
西小野昭人、野水敏行、長谷川雅一、山本英雄

監事：田中功、松原馨

陪席者：畦元将吾、加藤京一、白木尚

各地域連盟支部長（今田直幸、小野木満照、小田真一郎、塩谷正貴、鈴木雅博、豊嶋英仁、成田信浩、半部英敏、水口仁、目地毅、松本好正）

司会進行：江田哲男

書記：谷本恵子

（五十音順・敬称略）

業務報告・周知事項（期間報告：前回理事会～本日）

1. 日本診療放射線技師会報告 上田理事

先般、横浜にて開催されたJRCにおいて、JARTもブースを出展し、来訪者へ名刺を配布した。その裏面には、畦元先生のご紹介（現職：顧問）を記載した。多くの方にご理解をいただけたように思われる。なお、畦元先生は多忙のため、本ブースへのご来訪は叶わなかったが、日々精力的に活動していらっしゃる。また、全国各地において、日本診療放射線技師会と地方の放射線技師会との意見交換を進めている。今週は、兵庫、大阪の臨床検査・放射線技師会事務所を訪問し、山口では決起会が予定されている。多くの方々に畦元先生の名を広く認知いただくよう支援拡大を図っているところである。引き続き、ご協力をお願いしたい。

2. 活動報告 畦元参与

活動報告については、上田理事からも言及があった通り、直近では金曜日に開催された私大技師長会において、木暮理事長のご配慮のもと登壇の機会を賜った。参加者の皆様には熱心に耳を傾けていただき、非常にありがたく感じている。その後、神戸に赴き、臨床検査技師関係の理事会に出席した。当初10分程度の予定であったが、最終的に20分以上にわたり講話および質疑応答の時間をいただいた。会場の雰囲気も盛況であり、意義ある場となった。

翌日には、InstagramやFacebookにも記載した通り、兵庫県神戸市の加田先生が主催する会合にも出席した。加田先生は、今夏の参議院選挙に比例区より出馬を予定されている方であ

り、同会合には比例区の現職参議院議員数名を招かれ、壇上にて一言ずつ挨拶を賜る機会が設けられた。半部支部長が応援に駆けつけてくださり、名刺の配布等を手伝っていただいたこと大変ありがたく、感謝申し上げます。

さらに本日（4月14日）も、さまざまな連絡や進展があった。宮崎県の先生より連絡を受けた。自身の主催するセミナーの資料とともに、ビラ、名刺を入れ、参加者に配布したいとのことで、600枚のビラおよび名刺の依頼があった。代議士側にも協力体制に入ってもらっている。

認定こども園・子ども子育て政治連盟においては、私と有村氏の双方を推薦候補として掲げてくださった。これに伴い、両名のための事務所開きが行われ、達磨も供えられたほか、名札を掲げての真剣な応援体制となった。同会は既に8回ないし10回の選挙支援経験を有しており、今回も大変熱心に動いてくださっている。また、認定こども園・子ども子育て政治連盟も、私および有村氏を強く支持してくださっており、全国に300ヶ所の保育施設を有するその影響力は大きい。各施設へのポスター掲示およびビラ配布を進めていただけるとのことである。

最後に、本日、東京都の大森に所在する臨床衛生検査技師会を訪問し、ポスター・名刺・ビラ等を段ボール3箱分お渡しした。これらは全国の臨床検査技師会の連盟各支部に配布される予定であり、当方からも対応させていただいたところである。

3. 連名活動報告 木暮理事長

2025年2月13日（木）第1回JFRT理事会

2025年2月21日（金）第5回JFRT主催定例勉強会開催

2025年3月2日（日）第38回埼玉県診療放射線技師学術大会にて連盟ブース設置

2025年3月4日（火）前衆議院議員 三ツ林裕巳君を励ます会に出席（富田理事）

2025年3月9日（日）第92回自民党大会特別表彰「記念写真撮影」に出席
自民党大会にて感謝状を受領（連盟ニュースに掲載）

2025年3月10日（月）令和7年自由民主党各種団体協議会懇談会に出席
選挙およびSNSに関する講義を受講

2025年3月12日（水）衆議院議員田村憲久 未来を拓く会に出席

2025年3月24日（月）、4月7日（月）第7回、第8回JFRT定例勉強会開催

定例勉強会の評判は非常に良好であり、政治に関心の薄かった技師層にも関心を促す大きな契機となっている。現時点で延べ参加者は2,500名を超えた。次回、第9回目の定例勉強会は、4月23日（水）に開催を予定している。今回は核医学をテーマとし、アミロイドPETに関して北海道大学の我妻先生よりご講演を賜る予定である。5月にも2回の開催を予定しており、テーマは「血管造影」と「放射線治療」である。

※（公社）東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼

- 江田副理事長

3月24日(月) 畦元先生、若林秘書とともに都庁へ赴き、山加あけみ先生の応援のための推薦状をお渡しした。

4. 会計報告 木暮理事長

本年3月31日、2024年度の収支報告書を、事務所を置く埼玉県選挙管理委員会へ届け出し、無事に受理された。後ほど監事より詳細な監査報告がある。これまでは東京都を事務所所在地としていたが、埼玉県へと変更した。そのため、埼玉県選挙管理委員会へ出向き、必要な手続きをすべて完了した。指摘事項も一切なく、無事に受理されている。

前回の理事会以降、昨日までの時点における会員数は690名に達している。この点に関しては、後ほど角田副理事長から、会員システムに基づいた詳細の報告がある。

2023年度の年会費納入件数は169件、寄付は21件であった。一方、2024年度は会費納入が472件に増加している。これは新たに導入された会員システムによって納付率が向上した結果とみている。2025年度については、1月1日から4月13日までの時点で、会費納入件数は85件にとどまっている。今後、会員システムを活用し、一斉通知などを通じて納入を促進していく必要があると考えている。寄付についても、2025年度は現在までに15件あった。

2025年4月13日時点での連盟残金は1,304,208円となる。

5. 2024年度 会計監査報告 田中監事

今回の監査においては、監事の松原および田中の2名により実施した。

我々監事は、日本放射線技師連盟の令和6年1月1日から12月31日までの期間における事業および財産の状況について監査を行った。監査の方法および内容について、理事会をはじめとする主要会議に出席し、理事等から職務の執行状況について聴取した。また、事業報告書の記載内容について確認を行った。財産状況の監査においては、金銭出納帳の記載金額の正確性、収支決算書との整合性、支出に関する領収書および出金記録の確認、預金通帳の残高、ならびに手持ち現金の照合を確認した。事業報告書は、本団体の活動状況を正確に反映しており、運営が健全に行われていることを松原監事とともに確認した。会計帳簿についても、記載すべき事項が正確に記載されており、収支決算書との整合が取れていることを認める。また、次年度への繰越金に関しても、預金通帳の記載内容が収支報告書と一致しており、適切に処理されていることを確認した。以上をもって、令和6年度の監査報告とする。

6. 連盟会員システム報告 角田副理事長

現在の連盟会員管理システムにおける登録状況は次の通りである。会員総数は690名であ

り、うち利用会員は 675 名、退会会員は 15 名となっている。メールアドレス未登録者が 13 名ほど存在している。寄付に関しては、8 名から寄付をいただいております、総額は 8 万円であった。また、最近発生した事例として、2022 年度に入会した会員が、その年の会費を納入していなかったため、2025 年度のクレジット決済が不可となっていた。この件については、該当者とメールでやり取りを行い、2022 年度の未納分を納めなければ 2025 年度の会費納入ができない旨を説明し、了承を得た。入会していないのに入会金支払いを求められる現象についても改善されている。

- 木暮理事長

追加のご報告となるが、先述の会員システムからの寄付は、現在の仕様では一口 1 万円のみのお受けとなり、それ以上の金額はオンラインでは対応していない。従い、1 万円を超える寄付については従来通り「ゆうちょ銀行」を利用した送金をお願いしたい。また、5 万円以上の寄付に関しては、寄付者の氏名・住所・職業等を収支報告書に記載する必要があるため、その旨も併せてご留意願いたい。

7. その他 中上副理事長

JRC の会場において、多くの方々から予想以上の反響をいただき、大きな成果を感じた。この反応を受け、今後選挙までの期間においても、定例勉強会の活動を可能な限り継続・拡大していく所存である。なお、勉強会への延べ参加者数は 2,500 名を超えている。各支部長には、定例勉強会のチラシを影響力のある県内関係者へ積極的にシェア・配布していただきたい。また、各都道府県支部長および施設の技師長の皆様に対して、現場主導の積極的な行動をお願いしたい。あわせて、臨床検査部門においても話題を広げ、施設全体で支持を高めていただきたい。最大の問題は、「知っていたら投票したのに」という声が、JRC 会場でもなお多数聞かれた点である。地方に住んでいるから投票できない、というような誤解も未だに存在しており、極めて惜しい状況である。こうした“取りこぼし”を無くすためにも、支部長・技師長の自発的な啓発活動が必要不可欠となっている。

審議事項

1. 推薦状について 木暮理事長

推薦状に関して、以下の 3 点について承認を得たいと考えている。

1 点目は、全国 47 都道府県における診療放射線技師連盟の各支部長より、畦元先生への推薦状を提出いただく件である。この件については、改めて本部より全国の連盟支部長宛に正式に依頼を行う予定である。

2 点目として、今度は臨床検査技師連盟の各都道府県連盟支部長からも、畦元先生に対する推薦状をいただく方針である。この件については、先ほど畦元先生からの報告にあった通り、

昨日の臨床衛生検査技師会との面談時には、まだ具体的な推薦要請には至っていないとのことであった。よって、今後は診療放射線技師連盟側から正式に申し入れを行う予定である。

3点目として、澁谷理事より次の提案を受けている。現在、診療放射線技師および臨床検査技師の47都道府県支部長から推薦状をいただく体制を進めているが、それだけでは推薦者層として不十分であり、有識者など他方面からの支援も必要とされている。このため、Googleフォームを活用した仕組みを導入してはどうかとの提案があった。

このように、従来の支部単位による推薦と併せ、個人・多方面からの支援拡充を目的とした新たな仕組みとして、本件も承認をお願いする。

- 江田副理事長

以上の3点にわたる推薦状の方針について、承認された。

2. 次期参議院選挙について 木暮理事長

次期参議院選挙に関し、審議事項として5項目の提案を行いたい。

まず1点目は、畦元先生のSNS拡散に関する取り組みである。現在、畦元先生のSNSは次の媒体に展開している：Instagram、Facebook、YouTube、X。これらのアカウントは、QRコードを通じてアクセス可能となっており、名刺をはじめ、各種配布物にもQRコードを掲載している。また、会員システム、定例勉強会の登録参加者、連盟ホームページ上にもQRコードを掲出した。畦元先生の各種SNSにおけるフォロワー数の拡大を図ることを、1点目の活動提案として提示する。

2点目は、各都道府県技師会の事務所宛に、畦元先生のポスターおよび名刺を送付する件である。前回の理事会においてすでに承認済みであり、現在の進捗としては47都道府県すべてにおける送付先の確認が完了している。本日をもってポスターおよび名刺の印刷も全数完了したとの報告を受けている。到着後は、事務所内で放置されることなく、確実に連盟支部長へ手渡ししていただくよう要請するとともに、あわせて県技師会としても広報活動（名刺配布・ポスター掲示）への積極的な協力をお願いするものである。

3点目は、集会の開催に関する提案である。畦元先生からも関連発言があった通り、対面型の集会を各地で実施する計画を進めている。具体的には、各都道府県の連盟支部長が主導し、地域ごとに臨床検査技師・診療放射線技師のみならず、県議会議員・市議会議員なども招致し、地域ごとの集会として開催する形式を想定している。なお、畦元先生本人は現在多忙を極めており、本件に関しては畦元事務所が主導する事項となっている。各支部長に対しては、畦元事務所より直接依頼が届く予定であり、その際には地域事情に応じて柔軟にご対応いただきたい。

4点目は、Web形式によるタウンミーティング開催の提案である。これは、先述の3点目における対面型決起集会の補完的な位置付けとなる。対面での集会実施が困難な地域において、Web形式で地域ごとの関係者を集めるタウンミーティングを実施する案であり、実施主体は畦元事務所とする。対象地域においては、現地での集会の代替として、Web参加可能な環境を整

えたうえで、関係者の招集・日程調整を行う。開催に際しては、畦元事務所より詳細連絡を行う予定であるため、各都道府県連盟支部長には、参加者への呼びかけ等のご協力をお願いしたい。なお、対面型決起集会と Web 型タウンミーティングは重複開催しない方針とする。

5 点目は、各研究会に向けて、畦元先生のショート動画を提供し、会期中に映像を放映していただく件に関する提案である。本年 7 月にかけて、全国各地で多数の研究会が開催されることが見込まれる。これらの会合の冒頭または中間部において、畦元先生の活動や SNS 情報等を紹介する 1 分程度のショート動画を、コマーシャルベースで上映していただくことを想定している。本件については、研究会ごとに個別対応となるため、原則として本部より研究会主催者へ動画を送付する。ロングバージョンは公式ホームページにて視聴可能となっている。

本提案を含め、以上の 5 項目についてご承認をお願いしたい。

- 江田副理事長

木暮理事長からの 5 項目の提案について賛成多数にて承認された。

- 木暮理事長

最後に、審議事項として一点追加提案がある。本連盟として、自民党東京都参議院比例区第 13 支部へ 70 万円の寄付を行う意向であり、これについて承認をお願いしたい。

なお、寄付先となる第 13 支部の専用口座は現在開設申請中であり、口座開設完了後に速やかに送金を行う予定である。また、寄付実行にあたっては、2025 年度の収支報告においても正式に記録を残す手続きを行う。

以上、本件について正当かつ透明な処理を前提とした寄付提案であり、ご審議をお願いする。

- 江田副理事長

木暮理事長の提案について、賛成多数にて承認された。

- 木暮理事長

次は報告事項として扱う。各都道府県の診療放射線技師連盟支部長宛に畦元先生の推薦状を依頼するにあたり、各支部長宛に当該都道府県の連盟会員リストも同封する。このリストは 47 都道府県別に本部にて作成済みであり、支部長のもとに個別に送付する。

以上の内容は、前回理事会においても方向性が確認されていたものであり、本日改めて報告事項として周知する。本件に関する発送は今週中を予定しており、関係各位におかれては周知・対応へのご協力をお願いする。

今後の予定 木暮理事長

従来、理事会は年 4 回の開催であったが、5 月・6 月・7 月にも理事会を追加開催する方針とした。本日参加者は 32 名となっており、本理事会には連盟役員および 47 都道府県の支部長宛に

案内を送付済である。支部長に関しては陪席扱いとはなるが、理事会を通じた情報共有の意義は極めて大きいと考えている。今後の開催においては、最低でも 50 名以上の参加を目指していきたい。そのためにも、今後の理事会日程はあらかじめ公開・設定している。連盟全体が一丸となって体制を整え、理事会を基点とした情報共有と連携強化を図っていきたい。日程調整のうえ積極的なご参加をお願いしたい。

第 3 回理事会：5 月 16 日（金）18:30～

第 4 回理事会：6 月 16 日（月）18:30～

第 5 回理事会：7 月 22 日（月）18:30～

第 6 回理事会：10 月 6 日（月）18:30～

第 7 回理事会：12 月 9 日（月）18:30～

理事会総括 丹羽副理事長

第 2 回日本診療放射線技師連盟理事会の総括があった。

以上